

コーディネーター便り

作成：五和地区特別支援教育コーディネーター

2026. 2

特別支援教育コーディネーターは、特別支援教育を進めていくために、すべての園・学校で指名されている職員です。年に数回、五和地区のコーディネーターで集まり、進学する子どもさんの情報の引き継ぎや特別支援教育に関する研修等をおこなっています。今年度は言語聴覚士の小堀晶弘先生に来ていただき、ことばの発達についての研修を行いました。また、五和小・中学校では夏にSSTについて研修を行いました。このお便りで研修の内容や小・中学校の取り組みをお伝えできればと思います。

ことばの発達について

乳幼児期は言葉を話すための「土台」作りとなる時期です。
家庭や園など周りの大人の関わりが重要です。

○ことばの発達のめやす

- ・1歳～2歳頃…第一質問期（なに、これ）→自分の中で整理している。
第二質問期（どうして、なんで）→理由を求める。
疑問に思っていることにしっかりと答えてあげましょう。
- ・4歳～5歳頃…体験を話す、約束をする、未来の事柄を決める。
共同してルールを決める。

ことばを育てる環境

- ・生まれた時からたくさん話しかける。
- ・静かな場所を作る。
- ・子どもの興味や注目を大切にする。
- ・短い文章で分かりやすく話す。
- ・親子で関わる時間を作る。

子どもとの基本的な関わり方

- ・ほかの子と比べない。
- ・ひとりひとりの興味や関心を大切にする。
- ・できたことは認め、できないことは手だてを考える。
- ・「できた」「できるようにする」という結果だけに目的を置かない。
※できるようにしようと努力する過程を共有する。
- ・自分らしさ、自我の根っこ（自己の有能感）を育てる。

○家庭でもできる、明瞭な発音のための効果的な方法

- ・上の前歯の裏側に舌を押しつけて50数える。
- ・ガムを上顎に舌で押しつけて圧をかける。
- ・固い食べ物を食べる。
- ・あめ玉を舌で転がす。（危険のないように保護者の監視の下行ってください。）
- ・吹く玩具で遊ぶ。（風車、吹き戻し、シャボン玉、風船、折り紙のカエル）

S S T

SSTとは、ソーシャルスキルトレーニングのことで、対人関係や社会生活に必要なスキルを身につけるためのトレーニングです。現代の子どもたちはスマホの普及により、直接人と関わる経験が減ってきているため、気持ちを伝えあったり、関係を築いたりする力が育ちにくくなっています。そのため、特別な支援が必要な子だけでなく、子どもたちみんなに必要なスキルとして近年注目されています。

具体的にどんなスキル？

友だちづくりのスキル

- ・あいさつ
- ・自己紹介
- ・上手な誘い方

相手の気持ちを考えるスキル

- ・ふわふわ言葉、ちくちく言葉
- ・断り方
- ・心の声の想像

自分の気持ちを伝えるスキル

- ・上手な謝り方
- ・仲直りのしかた
- ・困っている人への声のかけ方

感情をコントロールするスキル

- ・アンガーマネジメント
- ・我慢すること
- ・気持ちの切り換え

取組の紹介

五和小学校では、特別支援学級と通級指導教室で児童の実態に合った内容のSSTを学習しています。公開授業等を行い、全職員で共通理解を図っています。

五和中学校では、全校生徒でSSTに取り組んでいます。ことばのクイズやさいころトークなど、楽しく活動しながら友だちとの交流を深めています。他にも集中力を高めるために、ビジョントレーニングにも取り組んでいます。

感情のコントロールSST

自分もみんなも気持ちよく楽しく過ごすためには、どうすればいいのかを考える学習では・・・

「がまん」ってどういうこと？



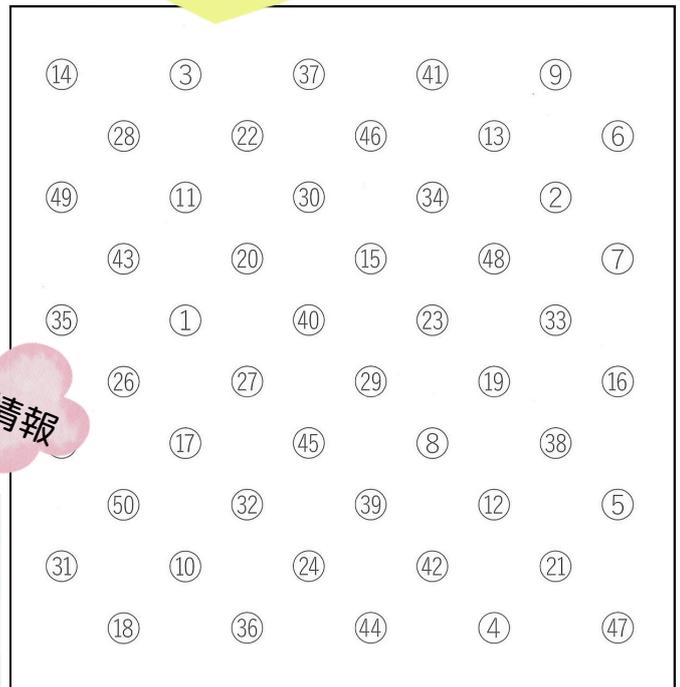
みんなが気持ちよく、仲よくできるのはどっち？ 自分の気持ちをがまんすると？



日常生活の事例から子どもたちの言葉を引き出し、正しい行動を知って生活の中で使える力にしていきます。

TRY IT NOW

ばらばらに散らばった1から50までの数字を見て、1から順番に数字を探し、タッチしましょう。



「みんないく」聞いたことある？

※睡眠の大切さを伝え、生活リズムの改善を目指す睡眠教育のこと

規則的な睡眠を通じて日々の生活を改善し、学習への意欲を高める「みんないく」を推進して取り組まれた結果、「不登校の生徒数が減った」「授業に臨む態度が前向きになった」などの結果が報告されています。詳細はQRコードから見てください。



三二情報

ビジョントレーニングを続けることで、①書く(描)力 ②読む力 ③つくる力(手先の器用さ) ④運動する力 ⑤集中力・注意力 ⑥記憶力 ⑦イメージ力の7つの力の向上が期待されています。